

環境県民フォーラムだよ！

VOL. 36 2015年10月1日 発行



平成27年度フォーラム総会を開催しました！

平成27年4月21日、奈良県文化会館で奈良県環境県民フォーラムの平成27年度総会が開催されました。総会では、楠下代表委員から今年度も奈良県環境総合計画を推進していく中で、市民、事業者、団体、行政がともに共同して取り組み、世界遺産の街にふさわしい奈良を創造していこうとする挨拶がありました。また来賓として、奈良県くらし創造部景観・環境局榎田次長から奈良県における今後の環境への取り組みについて、魅力のある地域づくり、地域の創造を進めるために、「きれい」をキーワードとしてライフスタイルを見直して知恵を出し合い、またフォーラムを更に高めていくために経験や知識、ネットワークを活かして取り組んでいただきたいという挨拶がありました。また、県環境政策課の柳原課長、上島主幹、また学識経験者として奈良教育大学特任教授の松村様や奈良女子大学名誉教授の大石様もご出席下さいました。



景観・環境局榎田次長



ならコープ寄附金贈呈
及び感謝状贈呈

総会では、昨年度の事業報告、会計報告、監査報告の後、10人委員会委員等の改選と本年度の事業計画・予算が承認されました。また市民生活共同組合ならコープ様からいただいた寄付に対して、副理事長の中野様に代表から感謝状が贈呈されました。

(代表委員 楠下)

第1部：総会

- ・平成26年度の事業報告、会計報告、監査報告は承認されました。
- ・平成27年度の主要事業は下記のとおり決定されました。

全体として

- ・全国環境月間での環境の日街頭キャンペーンへの参加
- ・機関紙「環境県民フォーラムだよ！」の発行
- ・エコな～らライフ宣言（ダイエットCO2）事業の推進

エネルギー分科会

- ・エコな～らライフ宣言（ダイエットCO2）事業の推進
- ・エコクッキングなどエネルギー教室等の開催
- ・環境にやさしいエコライフ提案、温暖化防止への意識啓発の推進

エコライフ分科会

- ・生活排水の汚濁負荷の減少を目指した河川浄化への啓発
- ・地域が育む川づくりの推進
- ・河川水質の指標となる蛍の生息環境の情報把握を行い、より効果のある取り組みを創出する

自然環境分科会

- ・自然環境セミナーの開催
- ・自然観察会やネイチャーゲーム等の自然体験教室の開催
- ・菜の花プロジェクトの推進
- ・やまと菜の花ネットと各プロジェクトの推進・支援

資源活用分科会

- ・環境にやさしい買い物キャンペーンの推進：レジ袋有料化への取り組み
- ・ごみの削減、再使用の推進、リサイクル最新技術の調査などエコ見学会の実施
- ・リユースを促進し、修理（リペア）の普及を図る
- ・他の関係機関との連携による事業の実施：発生抑制、再利用、再資源化（3R）を進める
- ・奈良県廃棄物対策課との協働も含め取り組む



第2部：フォーラム交流会

分科会ごとに興味のある取り組みの事例発表が行なわれ、改めてフォーラムのテーマとして各分野にわたり幅広い活動が展開されていることをお互いに知り合い、楽しい情報交流を行うことが出来ました。今年度も幅広く環境活動に取り組み地域の活性化を進めていきましょう。

イオンリテール株式会社様からの寄附金に対する感謝状贈呈式

平成26年度にイオンリテール株式会社様から、奈良県環境県民フォーラムへレジ袋の収益金を寄附していただいたことに対し、6月17日に実施した10人委員会で感謝状の贈呈式を行いました。贈呈式にはイオンリテール株式会社近畿・北陸カンパニーより堀切様にご出席いただき、「買い物袋持参運動」の話を含めご挨拶をいただきました。（事務局）



エネルギー分科会

省エネ機器等に関する施設見学・勉強会を実施しました

2月24日(火)に、1月30日(金)にオープンしたばかりの大阪ガスの情報発信拠点「ハグミュージアム」と、ガス機器の製造・販売をしている「ハーマン本社・工場」の施設見学・勉強会を行いました。

「ハグミュージアム」は、京セラドーム大阪の東隣りに位置し、食と住まいに関して見て、触れて、味わって、を体感できる施設です。タッチ&トライというコーナーでは、ガスコンロのグリルを使ったエコなお菓子作りの調理体験や、太陽光発電と燃料電池を組み合わせたダブル発電など、エコでスマートな暮らしを支える機器の勉強を行いました。また伸びたり曲がったりするガス管やコンピューターを内蔵したガスメーターなど、もしもの時の備えについても学習をしました。

此花区にある「ハーマン本社・工場」では、普段何気なく使っているガスコンロや給湯器の製造工程を見学し、何重にも行われている品質管理について理解しました。

10年程前と比べると、エネルギー関連機器は確実に進歩しています。私たちはエネルギー機器だけに頼らず、少しずつでも、省エネや安心・安全の意識を生活の中に取り入れていけば、より一層の生活の向上や地球環境の改善に寄与できるものと思われます。

(大阪ガス 越中)



ハグミュージアム



お菓子作り体験

エコライフ分科会

エコライフ分科会では、平成27年度「河川浄化への啓発」と「地域がはぐくむ川づくり」の2つのテーマで活動を開始しました。「河川浄化への啓発」では、継続的に行っている“アクリルたわし”の作成講習会の開催や、アクリルたわしの配布などの活動を実施しています。生活排水は下水道普及率や合併浄化槽の普及に伴って改善はみられますが、さらなる改善には、下水道へのつながり込みや、浄化槽の管理などさらなる啓発活動が必要だと感じています。「地域がはぐくむ川づくり」では河川の水質の指標生物である“蛍”の生息情報の収集を計画していましたが、準備不足もあり、また、情報収集が短期間である制約もあり、今年度は行えませんでした。

今後の活動として、「蛍の生息地」として知られる野迫川村に10月12日～13日訪問し、季節外れではありますが情報を収集したいと考えています。野迫川村は、過疎化と高齢化が進み推計人口は456人と人口減少が止まりません。一方、国の施策である「頑張る地方応援プログラム」による交付金を受け、観光産業や地場の食材(わさび、ヤマメ)の育成に力を入れています。わさびやヤマメは水のきれいな河川でないと育たず、村民の皆様が広大な森林面積を含め、森林や河川とどのように向き合っておられるかお話を伺う予定です。

(奈良環境カウンセラー協会 橋本)





7月2日、資源活用分科会のメンバーで京都市伏見区にある京都市南部資源リサイクルセンターと、京都市廃食用油燃料化施設、また長岡京市にあるサントリー京都ビール工場の3施設に見学に行ってきました。各施設どのようにして資源を活用されているのかお聞きしてきました。まず、京都市南部資源リサイクルセンターでは缶・びん・ペットボトルが処理対象となっており、この3種類が一緒に袋に入れて回収され、最先端の技術を駆使した自動選別機を通り分けられていきます。びんはガラス瓶の原料に、缶はアルミ製品の原料に、ペットボトルは洋服など化学製品の原料にリサイクルされます。ここでは知的障がい者が50人も働いており福祉工場としても運営されています。次に京都市南部リサイクルセンターでは使用済みの食用油（廃食用油）を軽油の代替燃料に再生しています。京都市民がボランティアで回収している家庭系と飲食店などから出る事業系の廃食用油を再資源化し、バイオディーゼル燃料として生まれ変わり、市バスの一部やゴミ収集車の燃料として使用されています。サントリー京都工場では製造工程で使用した水を循環させ再利用するなど使用量を減らし、また廃棄物の排出量削減と残渣は家畜の餌や肥料にするなど100%再資源化の取り組み、ゴミゼロを実践しています。3施設とも温室効果ガスの削減を目指して、取り組んでいることを実感しました。



自然環境分科会 自然体験教室と自然環境セミナーの参加募集のお知らせです

自然体験教室

稲刈り体験&棚田の自然学習会～参加募集～

日時 11月3日（火、祝）9時30分～15時頃

場所 奈良県高市郡明日香村大字稲刈憩いの館前



「明日香稲刈の棚田」で稲刈り体験をして収穫の喜びを体感し、棚田の大切さを学びます。先着50組（100名）。

古代米カレーの昼食付き。参加費は大人2,000円、小人（小学6年迄）1,000円
少雨決行（但し、警報発令時などは中止）。詳細は下記問い合わせ先まで。

申込み FAX又は法人ホームページより、住所・氏名（ふりがな）・電話番号・FAX番号・参加人数を下記へ。10/20（火）締切。

問合せ 奈良県環境県民フォーラム自然環境分科会 NPO法人明日香の未来を創る会
TEL 080・1461・5492（打越） FAX 0745・43・0589
URL <http://www.asukamirai.org/>

彩雲広場 古代の道めぐりと自然体験

日時 11月15日（日） 10時～15時

場所 桜井市外山（とび）不動院：お不動さん、宗像神社などを巡り彩雲広場へ

申込み・お問合せ NPO法人さくら菜の花プロジェクト

URL <http://web.jp/nanohana-s> 連絡先 090・2380・0383（事務局長 西田）

自然環境セミナー 「全国菜の花サミット in やまと」 成功に向けて！！

(イベントは終了しました)

日時 9月13日(日) 12時～15時頃

場所 奈良市生涯学習センター 3階

内容

- ・新しく搾れた菜種油で、天ぷら試食会
- ・やまと菜の花ねっとの団体、その他の環境団体活動報告
- ・基調講演

講師：菜の花プロジェクトネットワーク代表 藤井絢子

演題：「菜の花プロジェクトが目指す地平」



申込み・お問合せ (申込みは終了しました) 奈良県環境政策課 きれいに暮らす奈良推進係
TEL 0742・27・8732 FAX 0742・22・1668 E-mail kankyo@office.pref.nara.lg.jp

2016年4月9日・10日に奈良県で開催する**全国菜の花サミット**の決起集会です。

奈良県環境県民フォーラム・自然環境分科会

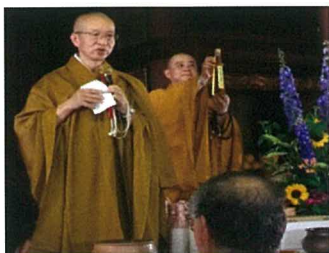
《やまと菜の花ねっと》・・・菜の花、橘だより

奈良市フィールド 大和の国・菜の花エコプロジェクト 事務局 NPO 法人宙塾

E-mail:ohzorajuku@gmail.com TEL ; 0742-93-4788

大安寺・高鴨神社・大峰山寺に菜種油奉納

「ESD・世界遺産学習」を進める『大和の国・菜の花エコプロジェクト』では、3月16日に高野山への奉納を成功させ、7月15日の高野山教報に大きく取り上げていただきました。6月23日には大安寺(奈良市)の笹酒祭にて、7月8日は恒例の薬師寺にて、7月20日は全国の鴨神社系列の総本社高鴨神社(御所市)の献燈祭にて、8月2日には大峰山寺にて奉納をし、「世界平和・震災復興等」を祈願いたしました。また8月16日は賣太神社の阿礼祭りにて、8月24日は元興寺地蔵会にて、六条幼稚園児有志が奉納いたします。着々と全国菜の花サミットへの事例づくりを進めております。



大安寺



薬師寺



大峰山寺



高鴨神社



賣太神社



大峰山寺

天理市・宇陀市フィールド

天理市と宇陀市の山間部でも菜の花栽培が広がっています。

天理市内では、天理教の旭日大教会で菜の花栽培が続けられていますが、昨年からは天理教本部での栽培が始まりました。本部では、神殿の灯明用に菜種油を使いたいとのことで、今後は栽培面積が増えそうです。今回の収量は、旭日大教会が26.7kg、本部が7.7kgでした。

宇陀市の深野地区は、朝日新聞社創刊130周年記念「日本の里100選」に選ばれた所で、天空の棚田と呼ばれる山里からは、眼下に宇陀の山並みが見渡すことができる景勝地です。管理をされている「深野ファンクラブ」の皆さんは、ササユリの保存にも力を入れて来られました。昨年から村の中心部にある神明神社の周辺にある休耕田で菜の花が植えられ、黄色い菜の花が春を告げるようになってきました。今年は昨年よりも多い39.2kgの菜種が収穫できました。



宇陀市深野地区での収穫の様子

天理市の「ひまわり保育園」で大和橘を植えました

天理市杉本町の社会福祉法人「しのめ会」が運営されている「ひまわり保育園」との縁が出来て、今年の7月上旬に、第2園舎の「ぞうくみ」さんが夏野菜を育てている畑の一角に大和橘の苗木3本を植えました。

「ひまわり保育園」は近鉄前栽駅の周辺3箇所に園舎をもつ比較的大きな保育園です。この前栽駅の東側を南北に走っているのが古道の一つ中ツ道、近世には「橘街道」と呼ばれた道にあたります。地元には、明日香の橘寺に通じるこの道を、白い馬にのった聖徳太子さんがお母さんの見舞いのために通ったという言い伝えがあるそうです。苗木はすくすく育っていますので、やがて毎年初夏には真っ白のさわやかな香りの花が咲き、秋にはかわいい実がたくさん収穫できることと思います。

平成25年3月3日に大和郡山市石川町で始まった橘街道を大和橘の並木道にしようという活動が天理市でも始まりました。大安寺から橘寺までの「橘街道を大和橘の並木道へ」の夢がかなう日を目指して、これからも大和橘を植えていきます。

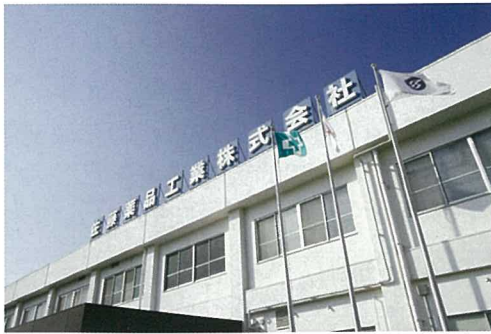


ひまわり保育園の大和橘と園児のみなさん

佐藤薬品工業株式会社の 環境保全の取り組みについて



フォーラム会員である企業の
環境保全の取り組みについてご
紹介します



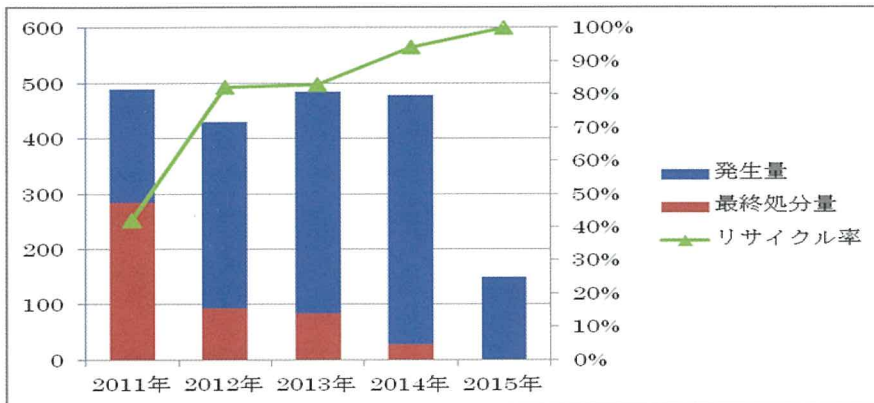
当社は『国民の保健衛生への貢献、および社会の善導に努める』ことを目指す企業として、2009年12月にISO14001を認証取得しました。それ以降、3カ年毎に活動目標を設定し積極的に地球環境保全に努めております。

その中でも廃棄物の資源化については取組当初から積極的に活動し、資源ステーションの建設により分別した資源が保管できるようになり、当初40%の状態であったリサイクル率が、現在ではリサイクル率100%と、ゼロエミッションを達成しております。

また、ゼロエミッション達成に伴い、処理費用が取り組み前と比較し約25%削減と大幅な経費減も実現できました。

現在は、環境管理活動とVPM活動（付加価値創造改善活動）と連動させることで事業活動の効率化を図り、結果として環境パフォーマンスが改善されることを目指して活動しております。

工廃棄物発生量とリサイクルの関連



エコタイプ設備（プリスター）導入



資源ステーション



地域貢献活動：川上村での植樹



緑地化



会社敷地全景写真

(佐藤薬品工業株式会社 高松)

賛助会員募集

奈良県環境県民フォーラムでは賛助会員として活動をご支援いただける企業、団体等を募集しています。当フォーラムの活動をご理解いただき、賛助会員としてご支援下さいますよう、お願い申し上げます。

特典

1. 広報誌「フォーラムだよ！」等刊行物をお届けします。
2. ホームページに随時氏名(ご希望の方)を掲載いたします。
3. 主催事業(省エネクッキングなど)に優先的にご参加いただけます。